

I

■出題のねらい

日常的な会話の内容を正確に理解する問題です。2者のやりとりの流れを見失わないようにしながら、細かい情報を読み取ります。テーマは「チャリティマラソン」です。チャリティとマラソンがどのように結びついているのか、注意深く読んで正確に把握しましょう。

■採点講評

全体的によくできていました。□4では②“set up a charity herself”を選んだ人が多かったですが、ここでの“a charity”は「慈善団体」の意味です。カタカナ語として定着している単語も、英語としては多様な意味を持っているケースがよくあります。カタカナ語にはくれぐれも注意しましょう。

II

■出題のねらい

ある美術館のレポート記事を読み、ポイントとなる情報を的確に読み取る力を問う問題です。個性的な美術館ですから、一般的知識に頼らず、注意深く読むことが必要です。事実の報告と記者の感想を区別しながら、各問で求められている情報を探していきましょう。

■採点講評

全体としてよくできていましたが、□9の正答率が低かったです。②“Check the website for the best time of year to visit the rose garden”を選んだ人が多かったです。単語だけを拾い読みするのではなく、じっくりと本文を読み込むことが必要です。重要なヒントは、be sure to ~ (必ず~してください) という表現です。日常会話でも頻繁に使われますので、覚えておきましょう。

III

■出題のねらい

本文は、バター供給不足や価格が高騰している理由を紹介した英字新聞記事からの抜粋です。(2)、(3)の問題となっている語彙以外は、基本的な語彙力で読める文ですが、問われている部分の前後だけを読むのではなく、しっかり全体の文脈を捉えていないと正確に解答できない問題になっています。また、本文の英語に照らし合わせながらグラフを理解する能力も問うています。

■採点講評

全体としてよくできていましたが、12の正答率が比較的低かったです。間違っ③て“not becoming worse in quality”を選んだ人が多かったですが、それでは本文の“not suited to long-distance transport”と整合性がとれません。知らない単語の意味も周りの文脈から推理して、文章全体の理解につなげるよう心掛けましょう。

IV

■出題のねらい

最近ニュースで報じられることが増えた人工知能(AI)に関する英字新聞記事からの抜粋です。AIの活用事例、将来の適用分野、さらにその進化によって予測される雇用問題等についての情報をつかみ、的確に正答を導き出せるかを問う問題です。情報を整理しながら全体の流れを捉えて読む必要があります。AIの劇的な進化が実際に自分たちの生活にどのような影響を与えるのか想像しながら読むとよいでしょう。

■採点講評

AIという、昨今話題のテーマではありますが、全体としての正答率はそれほど高くはありませんでした。例えば19の“robot shopping assistants”についての問題は、簡単そうに思えるかもしれませんが、本文を丹念に読まなければ正答にはたどり着けません。一般的な知識に頼りすぎないように注意しましょう。また、選択肢が英文の22も難しいと感じる人が多いかもしれません。このタイプの問題では、選択肢に使用されている単語を手掛かりに、本文の該当箇所をじっくり読むことが重要です。同じことを別の言い回しで表現することもありますので、単語・熟語の力も必要となります。

V

■出題のねらい

忍者のあまり知られていない側面について書かれた英文です。前置詞や接続詞などの用法、構文等を理解している必要があります。また、短い英文ですが、一般知識では解けませんので、内容理解のために英文を正しく読み解く力をつけていくことも重要です。

■採点講評

忍者という皆さんにとって馴染みのある話題で、全体としてよくできていました。ただ、の正答率が大変低く、不必要なものとして①の“as”を選んだ人が多かったです。ここでは“as opposed to their popular image”（忍者の一般的なイメージとは対照的に）となるように、③“reverse”を選ぶのが正答です。